

様式1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道10号 宮崎西バイパス
事業主体	九州地方整備局

事業の効果や必要性の評価評価に対応する事後評価項目

政策目標	指標（対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは を に変更）	指標チェックの根拠	
1. 活力 円滑な モビリティの 確保	現道等の年間渋滞損失時間（人・時間）及び削減率	区間b（当該区間/並行区間）について：（該当区間名：国道10号現道部） 並行区間等（当該区間）の渋滞損失時間：116.7万人・時間/年（区間名：国道10号現道部） 並行区間等（当該区間）の渋滞損失削減率：9割削減（区間名：国道10号現道部）	
	現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満であった区間の旅行速度の改善状況		
	現道又は並行区間等における踏切道の除却もしくは交通改善の状況		
	当該路線の整備によるバス路線の利便性向上の状況	・高岡 - 宮崎線、小松台・大塚台・生目台 - 宮崎市中心部を結ぶ路線の運行時間の短縮（高岡 宮崎駅前：49～54分 44分、大塚台センター前 デパート前：25分 15分）	
	新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上の状況	・宮崎市郊外部からJR宮崎駅へのアクセス向上（宮崎市富吉地区 JR宮崎駅：21分 16分）	
	第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上の状況	・宮崎市郊外部から宮崎空港へのアクセス向上（宮崎市富吉地区 宮崎空港：34分 30分）	
	物流効率化 の支援	重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上の状況	・宮崎市郊外部から宮崎港へのアクセス向上（宮崎市富吉地区 宮崎港：33分 28分）
		農林水産業を主体とする地域における農林水産品の流通の利便性向上の状況	・県内農産物の集配センターがバイパス沿線に立地し、集配拠点 宮崎港への配送ルートにあたる（宮崎市富吉地区 宮崎港）
		現道等における総重量25tの車両もしくは180規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間が解消	
	都市の再生	都市再生プロジェクトの支援に関する効果	
		広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路が形成（又は一部形成）されたことによる効果	
		市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携に関する効果	
中心市街地内で行われたことによる効果			
都市の再生	幹線都市計画道路網密度が1.5km/km ² 以下である市街地内での事業である		
	DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上		
	対象区間が事業実施前に連絡道路がなかった住宅地開発（300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上）への連絡道路となった		

1. 活力	国土・地域ネットワークの構築	高速自動車国道と並行する自専道（A'路線）としての位置づけあり	
		地域高規格道路の位置づけあり	
		当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する	
		当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	
		現道等における交通不能区間が解消	
		現道等における大型車のすれ違い困難区間が解消	
		日常活動圏の中心都市へのアクセス向上の状況	・高岡町、野尻町から宮崎市へのアクセス向上（高岡町 宮崎市：30分 25分）
	個性ある地域の形成	鉄道や河川等により一体的発展が阻害されていた地区の一体的発展への寄与の状況	・大淀川を隔てた宮崎市西部地区と宮崎市中心部との一体的な都市活動を支援する。
		拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントの支援に関する効果	・イベント時交通の円滑な処理（プロ野球キャンプ時に、宮崎市生目の杜運動公園へ4万人の観光客が集中しても、宮崎市中心部から東九州道宮崎西ICまでの動線が確保されている）
		主要な観光地へのアクセス向上による効果	
		特別立法に基づく事業としての効果	
		新規整備の公共公益施設と直結されたことによる効果	
		歴史的景観を活かした道路整備や中心商店街のシンボリックな道路整備等、特色あるまちづくりに資する事業としての効果	
2. 暮らし	歩行者・自転車のための生活空間の形成	自転車利用空間が整備されたことによる当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性向上の状況	
		交通バリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにバリアフリー化された	
	無電柱化による美しい町並みの形成	対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけあり	
		市街地又は歴史景観地区（歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区）等の幹線道路において新たに無電柱化を達成	
	安全で安心できるくらしの確保	三次医療施設へのアクセス向上の状況	・県立宮崎病院他、宮崎市内の救急医療施設への救急搬送時の速達性の向上 (高岡町内～県立宮崎病院：S63以前：約20分 部分供用時：約18分 全線供用後：約15分)

3. 安全	安全な生活環境の確保	現道等における交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等による安全性向上の状況	
		歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置されたことによる安全性向上の状況	・道路空間再構築により歩道幅幅または新設が行われ(L=3.0km)、生目小学校の通学路の安全性が向上した(約200名の児童が利用)
	災害への備え	近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1~2箇所の道路寸断で孤立化する集落が解消	
		対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業5ヶ年計画に位置づけのある路線(以下「緊急輸送道路」という)として位置づけあり	・緊急輸送道路
		緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成	
		並行する高速ネットワークの代替路線として機能	・並行する高速道路路線・東九州自動車道 宮崎西IC~清武JCT間通行止め時、又は宮崎自動車道 宮崎IC~清武JCT間通行止め時に、代替路線として機能
		現道等の防災点検又は震災点検対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消	
		現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間が解消	
		避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加	
		幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消	
		密集市街地における事業で火災時の延焼遮断帯として機能	
4. 環境	地球環境の保全	対象道路の整備により、削減される自動車からのCO2排出量	・CO2排出削減量(現道・並行区間等): H12時点 0.4万t-CO2/年 H16時点 0.5万t-CO2/年
	生活環境の改善・保全	現道等における自動車からのNO2排出削減率	- (NOX、PM法で定められる対策地域外)
		現道等における自動車からのSPM排出削減率	- (NOX、PM法で定められる対策地域外)
		現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過していた区間の騒音レベルの改善の状況	・夜間要請限度超過の状況(旧道沿いの騒音レベル: 73dB(H11) 66dB(H12)(夜間)、夜間要請限度超過箇所数: 1箇所 0箇所 夜間要請限度超過延長 0.75km 0.0km)(環境基準類型C、騒音規制区域c)
	その他、環境や景観上の効果	・道路空間再構築により、沿道地区の道路交通環境向上に寄与	
5. その他	他のプロジェクトとの関係	道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている	
		関連する大規模道路事業との一体的整備の必要性または一体的整備による効果	・東九州自動車道 宮崎西ICと一体的に機能する
		他機関との連携プログラムに関する効果	
	その他	その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果	

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・B Pの別
一般国道10号	宮崎西バイパス	L = 5.7 k m	二次改築	現拡・B P

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
15,200 ~ 46,800	2 ~ 4	九州地方整備局

費用

	改築費	維持修繕費	合計
基準年	平成16年		
単純合計	424億円	65億円	489億円
基準年における 現在価値 (C)	638億円	45億円	683億円

便益

	走行時間 短縮便益	走行費用 短縮便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成16年			
供用年	平成12年			
単年便益 (初年便益)	73億円	2億円	1億円	76億円
基準年における 現在価値 (B)	2,481億円	229億円	15億円	2,725億円

結果

費用便益比 (B / C)	4.0
---------------	-----

注) 費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

交通状況の変化

事業名：宮崎西バイパス

(推計時点 H12年)

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 [宮崎西バイパス] : 5.7km	交通量	[台/日]	17,700	23,600	
	走行時間	[分]	5	7	
	走行時間費用	[億円/年]	21.9	37.8	
②主な周辺道路	現道(国道 10号) : 3.4km	交通量	[台/日]	22,400	17,700
		走行時間	[分]	7	5
		走行時間費用	[億円/年]	39.8	22.4
	(都)大塚 中通線 : 4.6km	交通量	[台/日]	13,100	11,500
		走行時間	[分]	12	11
		走行時間費用	[億円/年]	39.5	33.3
	(主)南俣 宮崎線 : 13.1km	交通量	[台/日]	9,300	7,800
		走行時間	[分]	29	28
		走行時間費用	[億円/年]	68.3	55.8
	(主)宮崎 西環状線 : 10.7km	交通量	[台/日]	11,200	8,800
		走行時間	[分]	19	18
		走行時間費用	[億円/年]	52.5	39.3
	(主)宮崎 須木線 他 : 9.1km	交通量	[台/日]	10,000	7,500
		走行時間	[分]	16	16
		走行時間費用	[億円/年]	41.7	30.6
③その他道路合計 : 548.8km	走行時間費用	[億円/年]	2564.1	2535.3	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計 : 595.4km	走行時間短縮便益	[億円/年]	2827.8	2754.6	73.2

※ 四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

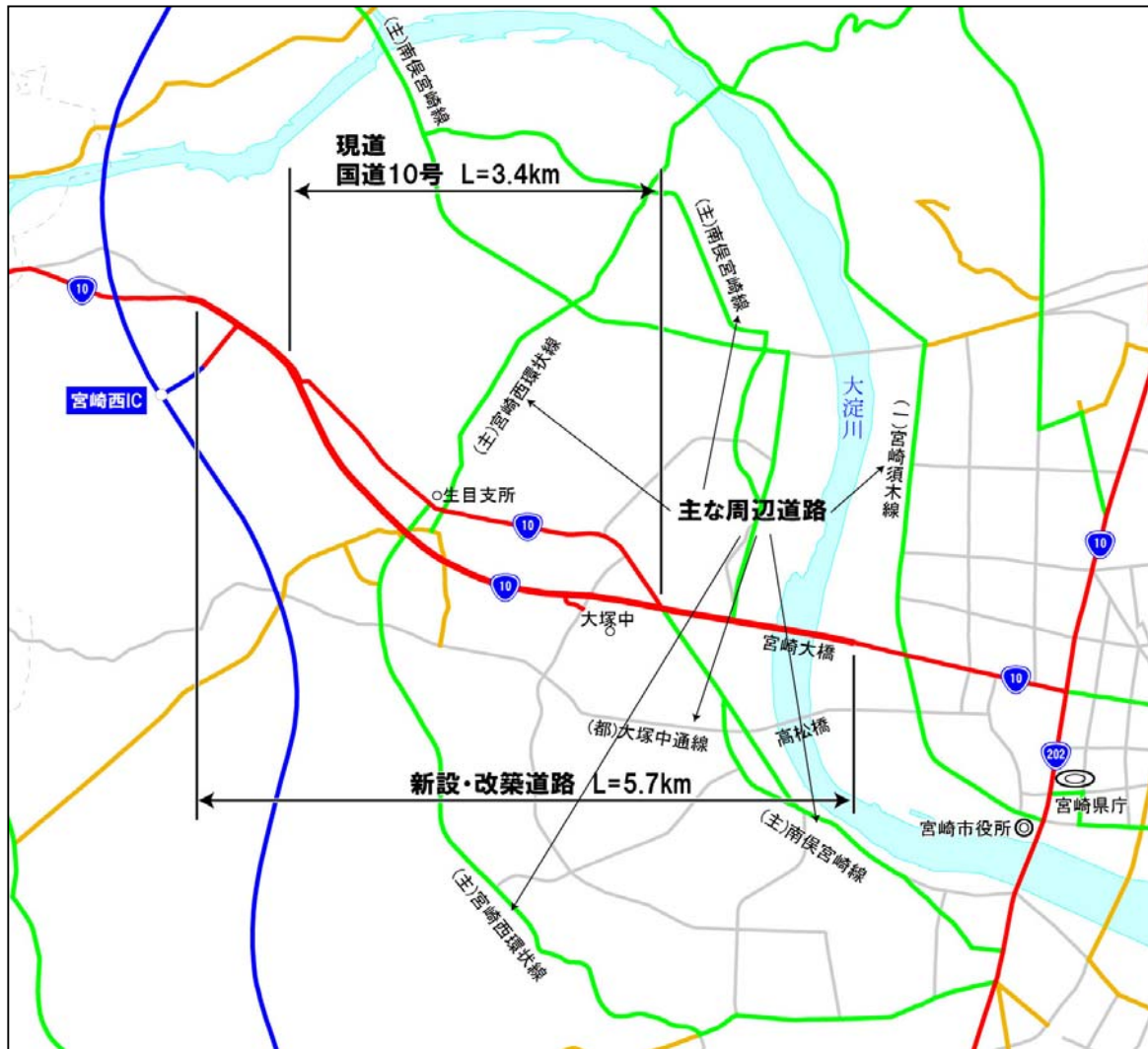
※ 1 : 交通量については、当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

※ 2 : 走行時間については、配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※ 3 : 走行時間費用については、費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※ 4 : 主な周辺道路については、当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

事業名：宮崎西バイパス



費用便益分析の条件

事業名：一般国道10号宮崎西バイパス

(2)

項目		チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成15年8月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)		
	その他		
分析の基本的事項	分析対象期間	暫定供用から全線供用後40年間	
	社会的割引率	4%	
	基準年次	平成16年	
交通流推計	交通流の推計時点	1時点のみ推計 複数時点での推計	
	推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	
		整備の有無のいずれかのみ推計	有 無
	推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	(H11センサス)
		パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	
		その他()	
	開発交通量の考慮	無	
		有	
		有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載
	配分交通量の推計手法	Q - V式を用いた配分	
転換率式を用いた配分			
Q - V式と転換率式の併用による配分			
均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)			
簡易手法			
簡易手法の場合		小規模事業である 山間部海岸部で併行道路が少ない その他()	
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定		
	採用理由を記載 交通量が、交通容量(Qmax ~ Qmin)以上の路線、交通容量(Qmin ~ Qmax)の路線、等が混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。		
	最終配分の速度		
	採用理由を記載		
その他()			

費用の現在価値算定表

維持修繕費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名: 一般国道10号宮崎西バイパス

採用単価の根拠 一般国道(直轄)		
単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.27	5.7	1.54

年次	年度	割引率	事業費(億円)		維持修繕費(億円)	
			単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
- 11年目	S 52	2.8834	1.17	3.38		
- 10年目	S 53	2.7725	1.73	4.80		
- 9年目	S 54	2.6658	0.14	0.37		
- 8年目	S 55	2.5633	1.32	3.39		
- 7年目	S 56	2.4647	3.60	8.86		
- 6年目	S 57	2.3699	5.67	13.45		
- 5年目	S 58	2.2788	12.89	29.38		
- 4年目	S 59	2.1911	11.36	24.88		
- 3年目	S 60	2.1068	15.18	31.97		
- 2年目	S 61	2.0258	13.76	27.87		
- 1年目	S 62	1.9479	29.69	57.83		
暫定供用開始年次	S 63	1.8730	14.26	26.71	0.36	0.67
1年目	H 1	1.8009	3.58	6.45	0.36	0.65
2年目	H 2	1.7317	5.32	9.22	0.51	0.89
3年目	H 3	1.6651	13.03	21.70	0.51	0.86
4年目	H 4	1.6010	17.11	27.40	0.51	0.82
5年目	H 5	1.5395	19.05	29.33	0.51	0.79
6年目	H 6	1.4802	10.52	15.57	0.51	0.76
7年目	H 7	1.4233	21.38	30.43	0.51	0.73
8年目	H 8	1.3686	29.47	40.33	0.51	0.70
9年目	H 9	1.3159	34.81	45.80	0.85	1.12
10年目	H 10	1.2653	76.23	96.46	0.85	1.07
11年目	H 11	1.2167	43.90	53.42	0.77	0.94
供用開始年次	H 12	1.1699	35.08	41.04	1.47	1.71
1年目	H 13	1.1249	0.00	0.00	1.47	1.65
2年目	H 14	1.0816	2.73	2.96	1.47	1.59
3年目	H 15	1.0400	0.71	0.74	1.47	1.52
4年目	H 16	1.0000			1.47	1.47
5年目	H 17	0.9615			1.47	1.41
6年目	H 18	0.9246			1.47	1.36
7年目	H 19	0.8890			1.47	1.30
8年目	H 20	0.8548			1.47	1.25
9年目	H 21	0.8219			1.47	1.20
10年目	H 22	0.7903			1.47	1.16
11年目	H 23	0.7599			1.47	1.11
12年目	H 24	0.7307			1.47	1.07
13年目	H 25	0.7026			1.47	1.03
14年目	H 26	0.6756			1.47	0.99
15年目	H 27	0.6496			1.47	0.95
16年目	H 28	0.6246			1.47	0.92
17年目	H 29	0.6006			1.47	0.88
18年目	H 30	0.5775			1.47	0.85
19年目	H 31	0.5553			1.47	0.81
20年目	H 32	0.5339			1.47	0.78
21年目	H 33	0.5134			1.47	0.75
22年目	H 34	0.4936			1.47	0.72
23年目	H 35	0.4746			1.47	0.70
24年目	H 36	0.4564			1.47	0.67
25年目	H 37	0.4388			1.47	0.64
26年目	H 38	0.4220			1.47	0.62
27年目	H 39	0.4057			1.47	0.59
28年目	H 40	0.3901			1.47	0.57
29年目	H 41	0.3751			1.47	0.55
30年目	H 42	0.3607			1.47	0.53
31年目	H 43	0.3468			1.47	0.51
32年目	H 44	0.3335			1.47	0.49
33年目	H 45	0.3207			1.47	0.47
34年目	H 46	0.3083			1.47	0.45
35年目	H 47	0.2965			1.47	0.43
36年目	H 48	0.2851			1.47	0.42
37年目	H 49	0.2741			1.47	0.40
38年目	H 50	0.2636			1.47	0.39
39年目	H 51	0.2534		-15.82	1.47	0.37
合計			423.71	637.92	65.42	45.28
単純事業費計			423.71		65.42	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

注3) 維持修繕費は便益算出マニュアルの参考値を基本としている。

便益の現在価値算定表

箇所名：一般国道10号宮崎西バイパス

年次	年度 (基準年) H16	総走行台数の年次別伸び率 (南九州ブロック)			割引率 (A)	走行時間短縮便益(億円)					走行経費減少便益(億円)					事故減少便益(億円)		合計 (億円)			
		乗用車類	貨物車類	全車		乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	計	現在価値 ×(A)	乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	計	現在価値 (A)×	現在価値 ×(A)	便益合計 (-)	現在価値 割引率4%	
暫定供用開始年次	S 63	1.0089	1.0194	1.0194	1.8730	7.8	0.4	1.7	2.6	12.5	23.5	0.2	0.0	0.0	0.0	0.2	0.4	0.1	0.2	12.8	24.0
1年目	H 1	1.0088	1.0190	1.0190	1.8009	7.9	0.4	1.7	2.6	12.7	22.9	0.2	0.0	0.0	0.0	0.2	0.4	0.1	0.2	13.0	23.4
2年目	H 2	1.0087	1.0187	1.0187	1.7317	10.9	0.6	2.2	3.4	17.1	29.6	0.2	0.0	0.0	0.0	0.2	0.4	0.3	0.5	17.6	30.5
3年目	H 3	1.0569	1.0216	1.0216	1.6651	11.5	0.7	2.2	3.5	17.9	29.8	0.2	0.0	0.0	0.1	0.3	0.4	0.3	0.5	18.4	30.7
4年目	H 4	1.0538	1.0212	1.0212	1.6010	12.2	0.7	2.3	3.5	18.7	29.9	0.2	0.0	0.0	0.1	0.3	0.4	0.3	0.5	19.2	30.8
5年目	H 5	1.0511	1.0207	1.0207	1.5395	12.8	0.7	2.3	3.6	19.4	29.9	0.2	0.0	0.0	0.1	0.3	0.4	0.3	0.5	20.0	30.8
6年目	H 6	1.0486	1.0203	1.0203	1.4802	13.4	0.8	2.4	3.7	20.2	29.9	0.2	0.0	0.0	0.1	0.3	0.4	0.3	0.5	20.8	30.8
7年目	H 7	1.0463	1.0199	1.0199	1.4233	14.0	0.8	2.4	3.7	21.0	29.9	0.2	0.0	0.0	0.1	0.3	0.4	0.3	0.5	21.6	30.8
8年目	H 8	1.0627	0.9867	0.9867	1.3686	14.9	0.8	2.4	3.7	21.8	29.9	0.2	0.0	0.0	0.1	0.3	0.4	0.3	0.4	22.5	30.7
9年目	H 9	1.0590	0.9865	0.9865	1.3159	26.2	1.5	8.4	13.0	49.1	64.6	0.4	0.0	0.3	0.2	0.9	1.2	0.2	0.3	50.2	66.1
10年目	H 10	1.0557	0.9863	0.9863	1.2653	27.6	1.6	8.3	12.8	50.3	63.7	0.4	0.0	0.3	0.2	0.9	1.1	0.2	0.3	51.5	65.1
11年目	H 11	1.0528	0.9862	0.9862	1.2167	29.1	1.6	8.2	12.6	51.6	62.8	0.5	0.0	0.3	0.2	0.9	1.1	0.2	0.3	52.7	64.2
供用開始年次	H 12	1.0118	0.9961	0.9961	1.1699	38.2	2.2	12.9	19.9	73.2	85.7	1.0	0.0	0.7	0.3	2.0	2.4	0.7	0.8	75.9	88.9
1年目	H 13	1.0116	0.9961	0.9961	1.1249	42.2	2.4	14.2	21.9	80.6	90.7	1.2	0.0	0.7	0.4	2.3	2.6	0.7	0.8	83.7	94.1
2年目	H 14	1.0115	0.9961	0.9961	1.0816	42.7	2.4	14.2	21.8	81.0	87.6	1.2	0.0	0.7	0.4	2.3	2.5	0.7	0.8	84.0	90.9
3年目	H 15	1.0114	0.9961	0.9961	1.0400	43.1	2.4	14.1	21.7	81.4	84.6	1.2	0.0	0.7	0.4	2.3	2.4	0.7	0.7	84.4	87.8
4年目	H 16	1.0113	0.9961	0.9961	1.0000	42.7	2.4	14.0	21.6	80.8	80.8	6.8	0.1	1.9	3.1	11.9	11.9	0.5	0.5	93.1	93.1
5年目	H 17	1.0111	0.9961	0.9961	0.9615	43.2	2.4	14.0	21.5	81.1	78.0	6.8	0.1	1.9	3.1	11.9	11.5	0.5	0.4	93.5	89.9
6年目	H 18	1.0110	0.9961	0.9961	0.9246	43.6	2.5	13.9	21.4	81.5	75.3	6.9	0.1	1.9	3.1	12.0	11.1	0.5	0.4	93.9	86.8
7年目	H 19	1.0109	0.9960	0.9960	0.8890	44.1	2.5	13.9	21.4	81.8	72.8	7.0	0.1	1.9	3.1	12.0	10.7	0.5	0.4	94.3	83.9
8年目	H 20	1.0108	0.9960	0.9960	0.8548	44.6	2.5	13.8	21.3	82.2	70.3	7.1	0.1	1.9	3.1	12.1	10.3	0.5	0.4	94.7	81.0
9年目	H 21	1.0107	0.9960	0.9960	0.8219	45.1	2.5	13.8	21.2	82.6	67.9	7.1	0.1	1.9	3.0	12.1	10.0	0.4	0.4	95.2	78.2
10年目	H 22	1.0105	0.9960	0.9960	0.7903	45.5	2.6	13.7	21.1	82.9	65.5	7.2	0.1	1.8	3.0	12.2	9.6	0.4	0.4	95.6	75.5
11年目	H 23	1.0061	0.9982	0.9982	0.7599	45.8	2.6	13.7	21.1	83.2	63.2	7.3	0.1	1.8	3.0	12.2	9.3	0.4	0.3	95.8	72.8
12年目	H 24	1.0061	0.9982	0.9982	0.7307	46.1	2.6	13.7	21.0	83.4	60.9	7.3	0.1	1.8	3.0	12.3	9.0	0.4	0.3	96.1	70.2
13年目	H 25	1.0061	0.9982	0.9982	0.7026	46.4	2.6	13.6	21.0	83.6	58.8	7.4	0.1	1.8	3.0	12.3	8.7	0.4	0.3	96.4	67.7
14年目	H 26	1.0060	0.9982	0.9982	0.6756	46.7	2.6	13.6	21.0	83.9	56.7	7.4	0.1	1.8	3.0	12.3	8.3	0.4	0.3	96.7	65.3
15年目	H 27	1.0060	0.9982	0.9982	0.6496	46.9	2.7	13.6	20.9	84.1	54.6	7.4	0.1	1.8	3.0	12.4	8.1	0.4	0.3	96.9	63.0
16年目	H 28	1.0060	0.9982	0.9982	0.6246	47.2	2.7	13.6	20.9	84.3	52.7	7.5	0.1	1.8	3.0	12.4	7.8	0.4	0.3	97.2	60.7
17年目	H 29	1.0059	0.9982	0.9982	0.6006	47.5	2.7	13.5	20.8	84.6	50.8	7.5	0.1	1.8	3.0	12.5	7.5	0.4	0.3	97.5	58.5
18年目	H 30	1.0059	0.9982	0.9982	0.5775	47.8	2.7	13.5	20.8	84.8	49.0	7.6	0.1	1.8	3.0	12.5	7.2	0.4	0.3	97.7	56.4
19年目	H 31	1.0059	0.9982	0.9982	0.5553	48.1	2.7	13.5	20.8	85.0	47.2	7.6	0.1	1.8	3.0	12.5	7.0	0.4	0.2	98.0	54.4
20年目	H 32	1.0058	0.9982	0.9982	0.5339	48.3	2.7	13.5	20.7	85.3	45.5	7.7	0.1	1.8	3.0	12.6	6.7	0.4	0.2	98.3	52.5
21年目	H 33	1.0008	0.9955	0.9955	0.5134	48.4	2.7	13.4	20.6	85.2	43.7	7.7	0.1	1.8	3.0	12.6	6.4	0.4	0.2	98.1	50.4
22年目	H 34	1.0008	0.9955	0.9955	0.4936	48.4	2.7	13.3	20.5	85.0	42.0	7.7	0.1	1.8	3.0	12.5	6.2	0.4	0.2	98.0	48.4
23年目	H 35	1.0008	0.9955	0.9955	0.4746	48.5	2.7	13.3	20.5	84.9	40.3	7.7	0.1	1.8	2.9	12.5	5.9	0.4	0.2	97.9	46.5
24年目	H 36	1.0008	0.9954	0.9954	0.4564	48.5	2.7	13.2	20.4	84.8	38.7	7.7	0.1	1.8	2.9	12.5	5.7	0.4	0.2	97.7	44.6
25年目	H 37	1.0008	0.9954	0.9954	0.4388	48.5	2.7	13.2	20.3	84.7	37.2	7.7	0.1	1.8	2.9	12.5	5.5	0.4	0.2	97.6	42.8
26年目	H 38	1.0008	0.9954	0.9954	0.4220	48.6	2.7	13.1	20.2	84.6	35.7	7.7	0.1	1.8	2.9	12.5	5.3	0.4	0.2	97.5	41.1
27年目	H 39	1.0008	0.9954	0.9954	0.4057	48.6	2.7	13.0	20.1	84.5	34.3	7.7	0.1	1.8	2.9	12.5	5.1	0.4	0.2	97.4	39.5
28年目	H 40	1.0008	0.9953	0.9953	0.3901	48.6	2.7	13.0	20.0	84.4	32.9	7.7	0.1	1.7	2.9	12.4	4.9	0.4	0.2	97.2	37.9
29年目	H 41	1.0008	0.9953	0.9953	0.3751	48.7	2.7	12.9	19.9	84.2	31.6	7.7	0.1	1.7	2.9	12.4	4.7	0.4	0.2	97.1	36.4
30年目	H 42	1.0008	0.9953	0.9953	0.3607	49.5	2.8	18.9	29.0	100.2	36.2	1.1	0.0	1.1	0.4	2.7	1.0	0.1	0.0	103.0	37.2
31年目	H 43	0.9969	0.9943	0.9943	0.3468	49.4	2.8	18.8	28.9	99.8	34.6	1.1	0.0	1.1	0.4	2.6	0.9	0.1	0.0	102.5	35.6
32年目	H 44	0.9969	0.9943	0.9943	0.3335	49.2	2.8	18.7	28.7	99.4	33.2	1.1	0.0	1.1	0.4	2.6	0.9	0.1	0.0	102.1	34.1
33年目	H 45	0.9969	0.9943	0.9943	0.3207	49.1	2.8	18.5	28.5	99.0	31.7	1.1	0.0	1.1	0.4	2.6	0.8	0.1	0.0	101.7	32.6
34年目	H 46	0.9969	0.9942	0.9942	0.3083	48.9	2.8	18.4	28.4	98.5	30.4	1.1	0.0	1.1	0.4	2.6	0.8	0.1	0.0	101.2	31.2
35年目	H 47	0.9969	0.9942	0.9942	0.2965	48.8	2.8	18.3	28.2	98.1	29.1	1.1	0.0	1.1	0.4	2.6	0.8	0.1	0.0	100.8	29.9
36年目	H 48	0.9969	0.9942	0.9942	0.2851	48.6	2.7	18.2	28.1	97.7	27.8	1.1	0.0	1.1	0.4	2.6	0.7	0.1	0.0	100.3	28.6
37年目	H 49	0.9969	0.9941	0.9941	0.2741	48.5	2.7	18.1	27.9	97.2	26.7	1.1	0.0	1.1	0.4	2.6	0.7	0.1	0.0	99.9	27.4
38年目	H 50	0.9969	0.9941	0.9941	0.2636	48.3	2.7	18.0	27.7	96.8	25.5	1.1	0.0	1.1	0.4	2.6	0.7	0.1	0.0	99.4	26.2
39年目	H 51	0.9969	0.9941	0.9941	0.2534	48.2	2.7	17.9	27.6	96.4	24.4	1.1	0.0	1.1	0.4	2.5	0.6	0.1	0.0	99.0	25.1
合計						2,059.4	116.3	635.3	977.9												